

教員の実績ハイライト

～ 特色ある取組、成果・業績～

各部署から提出された昨年度の教員の特色ある取組、成果・業績には次のような特徴がみられる。教育活動においては、昨年度に引き続き講義の改善に関する創意工夫の事例が多かった。その中からハイライトとして取上げた取組を参考にしていきたい。さらに今回、国際社会を意識した教育プログラムが目立った。中期計画の“幅広い教養と豊かな人間性ととも、十分な専門知識を習得させ、地球的視野をもって地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成する。【3】”や“明確な教育理念・目標と厳格な成績評価のもとで優れた質の多様な人材を育成して地域社会、国際社会に送り出す。【4】”に対応する取組である。研究活動においては、学内の相互交流が本格化し始めた様相がうかがえる。これも“研究に関する中期目標”の成果が現れているものと考えられる（特に中期目標2(2)② 研究環境整備の基本方針）。今回のハイライトのような素晴らしい研究成果が教員個人評価（自己評価）で数多くアピールされることを期待したい。社会的貢献においては、様々な分野が目立った成果が報告された。特に、愛媛大学の理念である“「地域にあって輝く大学」を創る”（大学憲章より）にふさわしい活動が活発に展開されつつあることがみうけられた。

提出されたこれらの目立った活動実績の中からさらに絞り込み、際立った事例についてハイライトとしてここに公表します。本学教員の参考になることを願うとともに、当該教員の益々のご発展を祈念いたします。

「教育活動」ハイライト

- ・学生の授業への参加を促す授業形態-----大学院医学系研究科・小林直人
- ・双方向型授業に質問カードの効用-----大学院理工学研究科（理学系）・東 長雄
- ・ミニッツペーパーで授業改善-----農学部・若林良和
- ・人材育成を視野に入れた多角的英語教育-----法文学部・今泉志奈子
- ・副本作成の効果（教材の充実、授業のわかりやすさ）-----農学部・江崎次夫
- ・到達目標に基づく授業の展開と試験・評価-----農学部・大上博基
- ・「教育活動」 JABEE や資格取得に向けた
 教育カリキュラムを整備・充実する-----大学院理工学研究科（工学系）・八木秀次
- ・環境を意識した学生実験への変更-----大学院理工学研究科（理学系）・東 長雄
- ・学生実験における教育の向上-----農学部・岸田太郎
- ・学生実験レポートに替わるもの-----大学院理工学研究科（理学系）・近藤久雄
- ・学生の海外派遣の促進-----法文学部・弓削俊洋

- ・体験活動を重視した海外研修の実施-----教育学部・東 賢司
- ・海外インターンシップ-----大学院理工学研究科（工学系）・小林真也
- ・海外インターンシップ-----大学院理工学研究科（工学系）・岡本好弘
- ・多数の修論、博論生の育成-----沿岸環境科学研究センター・田辺信介

「研究活動」ハイライト

- ・重症筋無力症発症メカニズムの解明-----大学院医学系研究科・重本和宏
- ・ベンチャー企業の起業-----大学院医学系研究科・浜川裕之
- ・超高硬度ナノダイヤモンドの合成-----地球深部ダイナミクス研究センター・入船徹男
- ・国際大賞を受賞-----沿岸環境科学研究センター・田辺信介
- ・国内外へ多数の特許出願-----無細胞生命科学工学研究センター・澤崎達也

「社会的貢献」ハイライト

- ・西予市の「古代ロマンの里構想」の充実化-----法文学部・下條信行
- ・特別支援教育の推進に関する地域貢献-----教育学部・花熊 暁
- ・有機ELの駆動に成功-----大学院理工学研究科（理学系）・小野 昇
- ・地すべりに関して、ネパールへの貢献-----大学院理工学研究科（工学系）・矢田部龍一
- ・模型飛行機制作による地域貢献事業-----大学院理工学研究科（工学系）・野村信福
- ・走査電子顕微鏡写真の教科書等への提供-----総合科学研究支援センター・藤原 隆
- ・共同研究で商品開発成功－新薬開発－-----総合科学研究支援センター・森田勇人